

製品安全データシート

作成日：2024年04月02日

改訂日：-----年----月----日

確認日：-----年----月----日

1. 化学品及び会社情報

製品名 [構成品名]	HISCL TARC 試薬 【HISCL TARC R1 試薬、HISCL TARC R2 試薬、HISCL TARC R3 試薬】 以下それぞれ R1 試薬、R2 試薬、R3 試薬と呼称
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4
緊急連絡電話番号	TEL：(078) 991-1911 (代表)
推奨用途	TEL：(078) 991-1911 (代表) 臨床検査測定用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	分類できない
環境に対する有害性	分類できない
GHS ラベル要素	
絵表示	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	
安全対策	該当しない
応急措置	該当しない
保管	該当しない
廃棄	該当しない
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない 他の有害危険性	本品の構成試薬の R1 試薬、R2 試薬にはアジ化ナトリウムが含まれていますが、法的には毒物ではありません。アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

危険有害成分

本製品は、安衛法、化管法、毒劇法の対象に該当しません。

本品の R1、R2 試薬にはアジ化ナトリウム(CAS：26628-22-8)を 0.1%未満含有しますが基準濃度以下のため、法的には毒物に該当しません。

本品の R3 試薬にはイソチアゾリン系の混合物(CAS：2634-33-5)を 0.1%未満含有しますが基準濃度以下のため、危険有害性 皮膚感作性 区分 1 に該当しません。

本品の R1～R3 試薬には、オクタメチルシクロテトラシロキサン(CAS：556-67-2)、デカメチルシクロペンタシロキサン(CAS：556-67-2)、ドデカメチルシクロテトラシロキサン(CAS：556-67-2)を 0.1%未満含有しますが基準濃度以下のため、PRTR 制度の対象物質に該当しません。

化学名又は一般名 濃度（範囲）

【R1 試薬】

各成分の化学名	CAS 番号	化審法官報公示 整理番号	安衛法官報公示 整理番号	濃度又は濃度範 囲
アジ化ナトリウム	26628-22-8	(1)-482	既存化学物質	<0.1%
オクタメチルシクロ テトラシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
デカメチルシクロペ ンタシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
ドデカメチルシクロ テトラシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%

【R2 試薬】

各成分の化学名	CAS 番号	化審法官報公示 整理番号	安衛法官報公示 整理番号	濃度又は濃度範 囲
アジ化ナトリウム	26628-22-8	(1)-482	既存化学物質	<0.1%
オクタメチルシクロ テトラシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
デカメチルシクロペ ンタシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
ドデカメチルシクロ テトラシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%

【R3 試薬】

各成分の化学名	CAS 番号	化審法官報公示 整理番号	安衛法官報公示 整理番号	濃度又は濃度範 囲
イソチアゾリン系化 合物の混合物	2634-33-5	(9)-1845	既存化学物質	<0.1%

オクタメチルシクロ テトラシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
デカメチルシクロペ ンタシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%
ドデカメチルシクロ テトラシロキサン	556-67-2	(7)-475	既存化学物質	<0.1%

4. 応急措置

必要な応急処置の説明	
吸入した場合	必要なら医師の診断を受ける
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察、手当てを受けること。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水。
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合、吸着剤（土・砂・ウエスなど）で吸着さ

二次災害の防止策	<p>せ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。</p> <p>多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。</p> <p>付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。</p> <p>滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。</p> <p>漏出物の上をむやみに歩かない。</p>																																												
7. 取扱い及び保管上の注意																																													
<p>取扱い</p> <p>安全取扱注意事項</p> <p>衛生対策</p> <p>保管</p> <p>安全な保管条件</p> <p>安全な容器包装材料</p>	<p>正しく測定するために添付文書をお読みください。</p> <p>眼、皮膚、または衣類に付けないこと。飲み込まないこと。取り扱い後はよく手を洗うこと。この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。</p> <p>2～8℃で保管する。</p> <p>ラベルに表示した条件で保管する。</p> <p>製品に使用している容器をそのまま使用する。</p>																																												
8. ばく露防止及び保護措置																																													
<p>許容濃度等</p> <p>設備対策</p> <p>保護具</p> <p>呼吸用保護具</p> <p>手・皮膚の保護具</p> <p>眼、顔面の保護具</p> <p>特別な注意事項</p>	<p>情報なし</p> <p>特に必要ない</p> <p>特に必要ない</p> <p>保護手袋</p> <p>保護眼鏡</p> <p>必要に応じて、適切な保護衣を着用する。</p>																																												
9. 物理的及び化学的性質																																													
<p>物理状態</p> <p>色</p> <p>臭い</p> <p>融点／凝固点</p> <p>沸点又は初溜点及び沸騰範囲</p> <p>可燃性</p> <p>爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界</p> <p>引火点</p> <p>自然発火点</p> <p>分解温度</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>[HISCL TARC R1 試薬]</th> <th>[HISCL TARC R2 試薬]</th> <th>[HISCL TARC R3 試薬]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物理状態</td> <td>液体</td> <td>懸濁液</td> <td>液体</td> </tr> <tr> <td>色</td> <td>淡乳白色</td> <td>褐色</td> <td>淡乳白色</td> </tr> <tr> <td>臭い</td> <td>無臭</td> <td>無臭</td> <td>無臭</td> </tr> <tr> <td>融点／凝固点</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>沸点又は初溜点及び沸騰範囲</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>可燃性</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>引火点</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>自然発火点</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> </tr> <tr> <td>分解温度</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> <td>データなし</td> </tr> </tbody> </table>		[HISCL TARC R1 試薬]	[HISCL TARC R2 試薬]	[HISCL TARC R3 試薬]	物理状態	液体	懸濁液	液体	色	淡乳白色	褐色	淡乳白色	臭い	無臭	無臭	無臭	融点／凝固点	データなし	データなし	データなし	沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし	データなし	データなし	可燃性	データなし	データなし	データなし	爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし	データなし	データなし	引火点	データなし	データなし	データなし	自然発火点	データなし	データなし	データなし	分解温度	データなし	データなし	データなし
	[HISCL TARC R1 試薬]	[HISCL TARC R2 試薬]	[HISCL TARC R3 試薬]																																										
物理状態	液体	懸濁液	液体																																										
色	淡乳白色	褐色	淡乳白色																																										
臭い	無臭	無臭	無臭																																										
融点／凝固点	データなし	データなし	データなし																																										
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし	データなし	データなし																																										
可燃性	データなし	データなし	データなし																																										
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし	データなし	データなし																																										
引火点	データなし	データなし	データなし																																										
自然発火点	データなし	データなし	データなし																																										
分解温度	データなし	データなし	データなし																																										

pH	5.9～6.1	6.4～6.6	5.6～6.4
動粘性率	データなし	データなし	データなし
溶解度	水に易溶	水に不溶	水に易溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし	データなし	データなし
蒸気圧	データなし	データなし	データなし
密度及び／又は相対密度	約 1.0	約 1.0	約 1.0
相対ガス密度	データなし	データなし	データなし
粒子特性	データなし	データなし	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし	データなし	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常取り扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	アジ化ナトリウムは鉛・鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります
避けるべき条件	酸、金属、鉛、銅との長時間の接触
混触危険物質	酸、銅、鉛、銀、水銀、二硫化水素
危険有害な分解生成物	アジ化水素

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	アジ化ナトリウム純物質として：ラット経口 LD50 27 mg/kg
経皮	情報なし
吸入	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし：GHS 分類：分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし：GHS 分類：分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし：GHS 分類：分類できない
生殖細胞変異原性	情報なし：GHS 分類：分類できない
発がん性	情報なし：GHS 分類：分類できない
生殖毒性	情報なし：GHS 分類：分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし：GHS 分類：分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし：GHS 分類：分類できない
誤えん有害性	情報なし：GHS 分類：分類できない
その他の情報	情報なし：GHS 分類：分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	情報なし
水生環境有害性、長期(慢性)	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし

<p>土壌中の移動性</p> <p>オゾン層への有害性</p> <p>その他の有害性</p>	<p>情報なし</p> <p>情報なし</p> <p>情報なし</p>
<p>13. 廃棄上の注意</p>	
<p>化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している 汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい 廃棄、又はリサイクルに関する情報</p> <p>残余廃棄物</p> <p>付着している汚染容器及び包装</p>	<p>水質汚濁防止法当の規制及び各都道府県の条例等に 留意して処理してください。</p> <p>行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、 廃棄物処理法に従って適切に処理してください。</p> <p>水質汚濁防止法当の規制及び各都道府県の条例等に 留意して処理してください。</p> <p>行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、 廃棄物処理法に従って適切に処理してください。</p>
<p>14. 輸送上の注意</p>	
<p>国際規制</p> <p>航空規制情報（ICAO/IATA）</p> <p>国連番号</p> <p>品名（国連輸送名）</p> <p>国連分類（危険有害性クラス）</p> <p>容器等級</p> <p>海上規制情報（IMO）</p> <p>国連番号</p> <p>品名（国連輸送名）</p> <p>国連分類（危険有害性クラス）</p> <p>容器等級</p> <p>海洋汚染物質</p> <p>MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コードによる ばら積み輸送される液体物質</p> <p>国内規制</p> <p>航空規制情報</p> <p>海上規制情報</p> <p>陸上規制情報</p> <p>輸送又は輸送手段に関する特別の安全策</p>	<p>輸送危険物に該当しない</p> <p>非該当</p> <p>非該当</p> <p>非該当</p> <p>非該当</p> <p>輸送危険物に該当しない</p> <p>非該当</p> <p>非該当</p> <p>非該当</p> <p>非該当</p> <p>非該当</p> <p>輸送危険物に該当しない</p> <p>輸送危険物に該当しない</p> <p>輸送危険物に該当しない</p> <p>運搬に際しては、転倒落下、損傷を来さず、横倒し ないよう積み込み、荷崩れを防止してください。</p>
<p>15. 適用法令</p>	
<p>薬機法</p> <p>安衛法</p> <p>化管法</p> <p>毒劇法</p>	<p>体外診断用医薬品</p> <p>非該当</p> <p>非該当</p> <p>非該当</p>

化審法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当
スイス連邦法 揮発性有機化合物の特別税法	非該当
16. その他の情報	
その他の情報	<p>[注意] 本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。</p> <p>ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。</p>
略語	<p>化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律</p> <p>安衛法：労働安全衛生法</p> <p>薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律</p> <p>PTRR 法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律</p>
データの主要な文献参照と出典	NITE GHS 分類公表データ